

公園施設長寿命化計画策定指針（案）

健全度調査・判定事例集

平成24年4月

国土交通省都市局
公園緑地・景観課

目 次

1. はじめに	・・・	1
2. 適用範囲	・・・	1
3. 各施設の健全度判定	・・・	1
3-1 健全度判定の評価基準	・・・	1
3-2 部材単位の評価	・・・	2
3-3 健全度総合評価	・・・	2
4. 健全度調査ポイント	・・・	3
4-1 部材ごとに着目する損傷種類と健全度判定	・・・	3
4-2 施設ごとの調査ポイント	・・・	7
5. 健全度判定事例	・・・	18
5-1 公園施設の健全度判定事例集	・・・	19
5-2 部位・部材毎の健全度判定事例集	・・・	41

1. はじめに

公園施設長寿命化計画を策定するには、公園ごとの施設の設置状況や構造材・消耗材等の部材の劣化や損傷の状況、施設本体とその周辺に存在する危険性の有無、公園の顔やシンボル等としての美観的価値等について予備調査及び健全度調査を通して把握する必要がある。

健全度調査においては、各施設の専門の有資格者または、これと同等以上の技術者によることが望ましいが、調査技術者の経験・技量により健全度の判定結果がばらつくことや、各自治体の職員自らが調査を実施することが想定されることを踏まえ、施設により点検すべきポイントが異なることから、健全度調査を実施する際の補足資料として、特に注視して見るべき損傷や部位（点検ポイント）と健全度判定基準に見合った判定がなされるよう健全度調査・判定事例集を作成したので長寿命化計画策定の参考にされたい。

2. 適用範囲

本事例集において対象とする施設は、都市公園に設置されている一般施設、遊具施設、土木構造物、建築物等とする。

3. 各施設の健全度判定

3-1 健全度判定の評価基準

公園施設の健全度の判定は、指針に示す通り、以下に示す「A・B・C・D」の四段階評価を標準とする。

なお、評価基準については、各地方公共団体等で独自に評価基準を作成し用いても構わない。

表-1 健全度判定の評価基準

指針(案) P33

ランク	評価基準
A	<ul style="list-style-type: none">・全体的に健全である。・緊急の補修の必要はないため、日常の維持保全で管理するもの。
B	<ul style="list-style-type: none">・全体的に健全だが、部分的に劣化が進行している。・緊急の補修の必要性はないが、維持保全での管理の中で、劣化部分について定期的な観察が必要なもの。
C	<ul style="list-style-type: none">・全体的に劣化が進行している。・現時点では重大な事故につながらないが、利用し続けるためには部分的な補修、もしくは更新が必要なもの。
D	<ul style="list-style-type: none">・全体的に顕著な劣化である。・重大な事故につながる恐れがあり、公園施設の利用禁止あるいは、緊急な補修、もしくは更新が必要なもの。

3-2 部材単位の評価

各施設は部材から構成されており、材質によって劣化状況も異なるため健全度の判定にあたっては、部材単位でその劣化や損傷の状況の評価する必要がある。部材単位の評価は次のとおり考えるものとする。

- ・同じ部材で発生している損傷種類が1つのときは、その評価をその部材の健全度とする。
- ・同じ部材で発生している損傷が複数のときは、部材単位で最低評価をその部材の健全度とする。

3-3 健全度総合評価

構造部材の劣化は、最も施設に対して影響が大きいことから、構造部材に対する健全度評価をその施設の総合的な健全度とすることが望ましい。

なお、施設の機能として美観が重要な場合や、利用の安全を重視する場合には、消耗材の劣化にも注意する必要がある。

ただし、施設の可動部のように、その部材の損傷が重大な事故につながる場合は、非構造部材（消耗材）であっても総合評価に考慮する必要がある。各施設の代表的な構造部材と非構造部材（消耗材）の分類を表-2に示す。

表-2 公園施設の構造材と消耗材の分類

施設分類	施設名	構造部材	非構造部材 (付属物・消耗材)
一般施設	パーゴラ、四阿等	支柱、梁、屋根等	ルーバー、ボルト、留め金類
遊具	ぶらんこ、すべり台、シーソー等	支柱、梁、基礎等	可動部（吊金具）、チェーン、ロープ、スプリング等
土木構造物	橋、擁壁等	桁、床版、下部工等	伸縮装置、排水装置、支承、高欄等
建築物	管理事務所、便所等	柱、壁、屋根等	電球、蛍光灯、仕上げ材、ドアノブ等

なお、遊具は、国の指針等^{*1}に基づいた適切な調査・点検を実施していることから、施設の劣化状況だけでなく、安全性の確保のため、構造材に加え、消耗材についても最低の評価を総合判定とする。

また、便所等の建築物など処分制限期間が長い施設は、構造的な劣化だけでなく、美観機能の劣化が防犯や景観に影響することを踏まえ、美観の観点からの判定にも留意することが望ましい。

* 1：指針等：都市公園における遊具の安全確保に関する指針（改訂版）（H20.8国土交通省）、遊具の安全に関する規準：JPFA-S：2008（（社）日本公園施設業協会（JPFA））等

4. 健全度調査ポイント

4-1 部材ごとに着目する損傷種類と健全度判定

施設の健全度評価は、表 4.1 に示す健全度調査項目（着目する損傷種類）ごとに、表 4.2 に示すような評価を行う。なお、公園施設は多種多様にわたるため、具体の施設にあわせて、適時項目は追加することが望ましい。

また、それぞれの評価において調査員による判断が難しい場合は、専門家の意見を仰ぐ必要がある。

表 4.1 健全度調査項目（着目する損傷種類）と確認方法

材 質	健全度調査項目 (損傷種類)	状 況	確認方法
金属類	1.防食機能劣化/腐食	防食機能の劣化とは、鋼材の防食被覆（塗装、メッキ・金属溶射）の劣化により、変色・光沢減少、ひび割れ、はがれ等が生じている状態をいう。 腐食とは、鋼材に錆が発生している状態、または、錆の進行により断面欠損を生じている状態をいう。	目視
	2.ゆるみ・脱落	接合部分のボルト類にゆるみが生じたり、脱落している状態	目視 触診
	3.亀裂	鋼材に外力が繰り返し作用することで、弱点部（溶接の内部欠陥、溶接の止端部、ボルト孔等の応力集中部）を起点とする微細な亀裂が発生した状態	目視
	4.摩耗	材料が他の物体と摩擦接触の繰り返しにより、表面が擦り減った状態	目視
コンク	5.ひびわれ	コンクリート部材の表面にひびわれが生じている状態	目視
リート	6.剥離・鋼材露出	コンクリート部材の表面が剥離している状態。剥離部で鉄筋が露出している場合を鉄筋露出という	目視 打診
木	7.腐朽/蟻害	腐朽菌やシロアリ等による劣化。変色・カビの発生や断面の減少が生じている状態	目視
共通	8.変形・破損	材質や原因に関わらず、部材に傷や変形、欠損、摩耗等の外観的損傷が生じている状態	目視
	9.ぐらつき	ぐらつき等、所定の固定性が失われている状態	目視 触診
	10.移動・沈下・傾斜	移動や沈下、傾きが生じている状態	目視
	11.漏水・滞水	漏水や滞水が生じている状態	目視
	12.その他	その他の損傷が生じている状態	目視

※損傷の確認方法は、基本的に概観目視により実施する。また、目視の補完として触診、打診により確認する他、必要に応じてコンパックス、クラックスケール、テストハンマー等の簡易器具を使用する。

参考文献：橋梁定期点検要領（案）平成 16 年 3 月 国土交通省 国道・防災課
および長岡市公園施設点検業務実施要領

表 4.2 損傷種類ごとの評価基準

1. 防食機能劣化／腐食

ランク	評価基準
A	損傷なし。または、軽微な防食機能の劣化（変色、部分的な塗膜はがれ）
B	広範囲の防食機能劣化（変色、塗膜はがれ、点錆）、部分的な表面の錆
C	広範囲の表面的な錆、部分的に軽度の板厚減少をともなう錆
D	局部的又は全体的に極度の板厚減少をともなう錆

2. ゆるみ・脱落

ランク	評価基準
A	損傷なし
B	ボルト類の緩みがある。 （締め直し等により、速やかに対応可能）
C	ボルト類の緩みがある。 （部材交換等が必要で、速やかに対応できない）
D	ボルト類の脱落がある。

3. 亀裂

ランク	評価基準
A	損傷なし
B	塗膜割れが発生している
C	断面急変部、溶接接合部といった応力集中が生じやすい箇所に塗膜割れが生じている（長さが比較的短く塗膜割れ部に錆の発生が認められない）。
D	明らかな線状の亀裂が生じている。 亀裂の疑いがある塗膜割れが生じている（長さが比較的長く、塗膜割れの周辺に錆が発生している）。

4. 摩耗

ランク	評価基準
A	損傷なし
B	可動部分に軽微な摩耗が生じている。
C	部材の1/3以上が摩耗している
D	部材の1/2以上が摩耗している

5. ひびわれ

ランク	評価基準	
	ひびわれの有無	ひびわれの性状
A	損傷なし	—
B	あり	構造的に問題となる箇所に発生しておらず、進行性は認められない
C		構造的に問題となる箇所に発生していないが、進行性は認められるひびわれである。
D		構造的に問題となる箇所に発生していないが、漏水や遊離石灰等が発生しており、耐久性等への影響が懸念されるひびわれである。
D		構造的に問題となる箇所に発生しており、安全性に問題がある。

6. 剥離・鋼材露出

ランク	評価基準
A	損傷なし
B	局所的なうき又は剥離のみが発生しており、鋼材の露出は認められない、又は認められるが軽微である。
C	広範囲又は複数個所に、うき又は剥離が発生しているが、鋼材の露出は認められない。又は認められるが軽微である。 鋼材の露出は局所的であるが、露出した鋼材の腐食が著しく、断面欠損が生じている。
D	鋼材の露出が広範囲に及んでおり、露出した鋼材の腐食も著しく、部材の機能や耐荷性、耐久性等が損なわれている状態。 コンクリート片の落下により、重大な事故の恐れがある状態。

7. 腐朽

ランク	評価基準
A	損傷なし
B	表面にカビや変色が生じている。 表面に割れや断面減少が生じているが機能や構造的な安全性には問題ない。
C	表面に割れや断面減少が生じており、機能や構造的な安全性の低下が懸念される。
D	表面に著しい割れや断面減少が生じており、構造的な安全性が損なわれている。

8. 変形・破損

ランク	評価基準
A	損傷なし
B	部材に局所的な変形や破損が生じているが、機能や構造的な安全性には問題ない。
C	部材に局所的な変形や破損が生じており、機能や構造的な安全性の低下が懸念される。
D	部材に著しい変形や損傷が生じており、構造的な安全性が損なわれている。

9. ぐらつき

ランク	評価基準
A	損傷なし
B	所定の固定性が損なわれている（速やかに対応が可能）。
C	—
D	所定の固定性が損なわれている。

10. 沈下・移動・傾斜

ランク	評価基準
A	損傷なし
B	沈下・移動・傾斜が生じているが、機能や構造的な安全性に問題ない。
C	沈下・移動・傾斜が生じており、機能や構造的な安全性の低下が懸念される状態。
D	著しい沈下・移動・傾斜が生じており、構造的な安全性が損なわれている状態。

11. 漏水・滞水

ランク	評価基準
A	損傷なし
B	漏水・滞水が見られるが、機能や構造的な安全性には問題ない状態。
C	漏水・滞水により機能や構造的な安全性が低下している状態。
D	漏水・滞水により構造的な安全性が損なわれている状態。

12. その他

ランク	評価基準
A	損傷なし
B	損傷があるが、機能や構造的な安全性には問題がない状態。
C	損傷があり、機能や構造的な安全性の低下が懸念される状態。
D	損傷があり、構造的な安全性が損なわれている状態。

4-2 施設ごとの調査ポイント

4-2-1 一般施設

一般施設（四阿、パーゴラ等）の調査は、対象施設の全体及び主要部材について、下記に示す劣化状況を目視で確認することとし、必要に応じて揺り動かして締め付け具合の良否についても確認する。

- 本体のゆがみ、傾き、変形等の状況
- 支柱、梁等のぐらつき、腐食、破損、変形状況
- 異常を示す亀裂はないか
- 鉄筋の露出、腐食はないか
- 屋根材の腐食、破損、変形状況
- 継ぎ手金具等の腐食、破損、固定状況

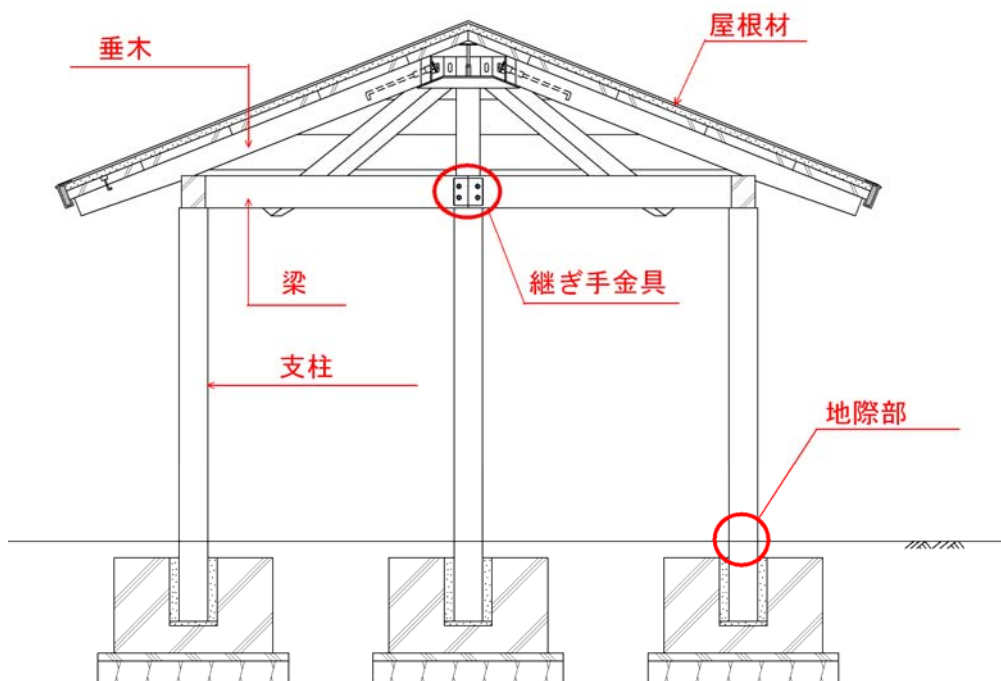


図 4.1 一般施設（四阿）の調査着目位置

異常の判定例

梁接合部の腐食



梁接合部の腐食



支柱部の腐食



ルーバーの腐朽、破損



梁部鋼材露出



接続金具腐食



健全度判定ランクの事例はP20以降に示す。

4-2-2 遊具

遊具は、「都市公園における遊具の安全確保に関する指針（改訂版）（平成 20 年 8 月 国土交通省）」に基づき、部位・部材ごとに点検を行うものとする。

なお、遊具に関しては、上記の国の基準に基づき年 1 回以上の定期点検を実施することとされていることから、この定期点検結果を健全度調査として活用する。

遊具における主な点検のポイントは、以下の通りである。

- 支柱、梁、手すり等のぐらつき、腐食、破損、変形状況
- 表面のささくれ等の突起
- 異常を示す亀裂はないか
- ボルト類のゆるみ、脱落
- 継ぎ手部の腐食、破損、固定状況
- 塗装劣化
- 可動部、吊金具の摩耗、破損
- 座板、滑降部等の腐朽、破損

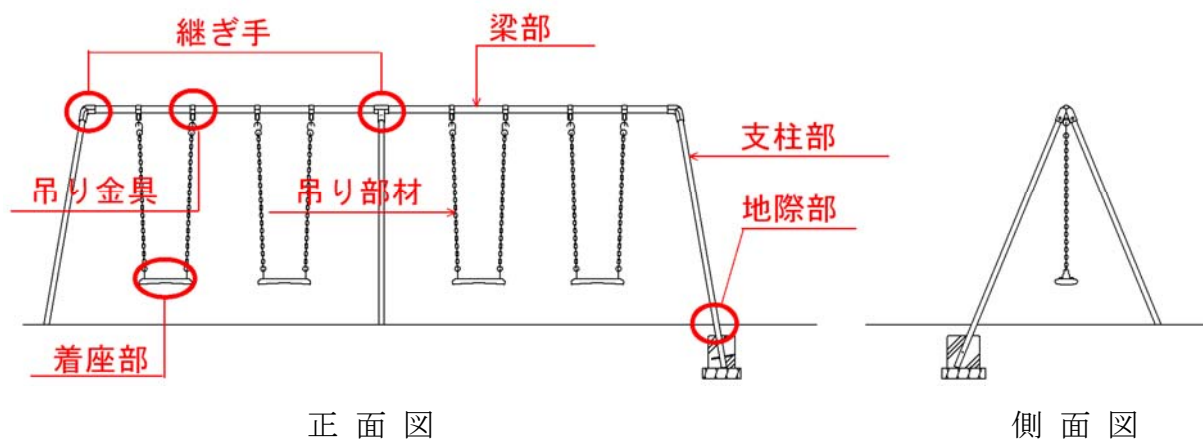


図 4.2 遊具・ぶらんこの調査着目位置

異常の判定例

継ぎ手金具の破損



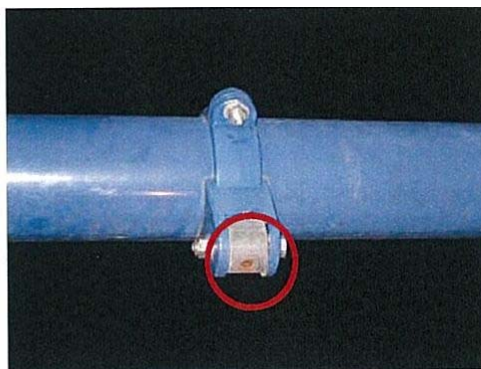
吊金具の摩耗



吊金具のずれ



吊金具の破損



金具の摩耗



金具摩耗と座板の腐朽



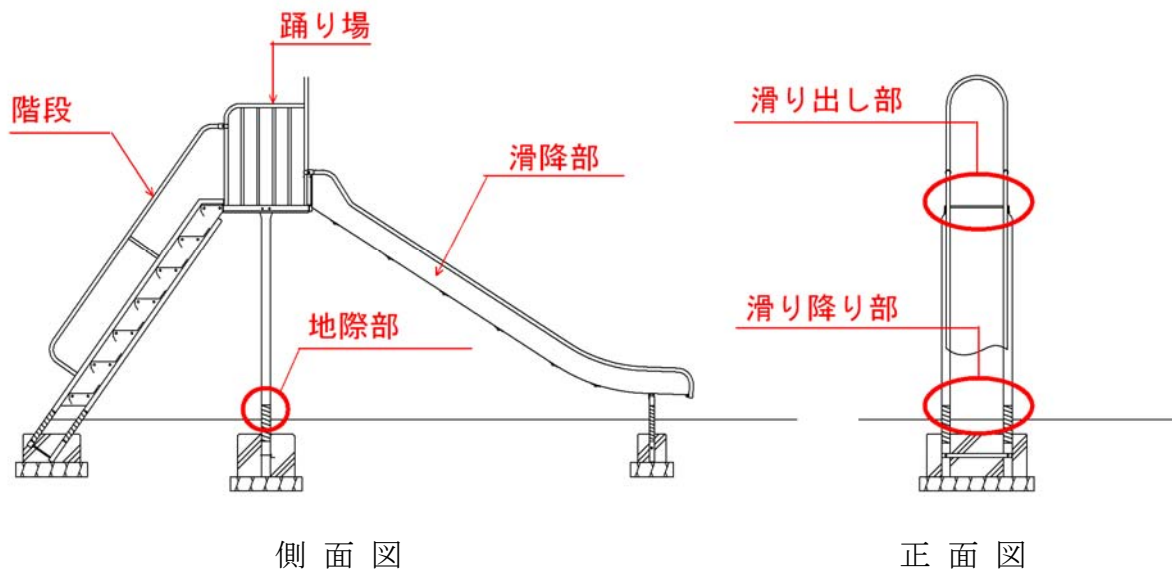


図 4.3 遊具・すべり台の調査着目位置

異常の判定例

滑降部溶接部分の割れ



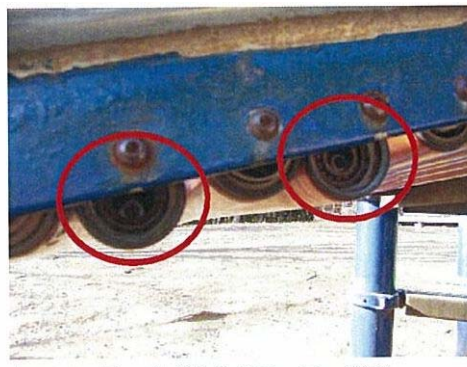
踊り場の腐食



滑り降り部端部の亀裂



ローラーすべり台ローラー部の破損



参考文献：横浜市公園施設点検マニュアル平成 23 年 4 月 横浜市環境創造局

4-2-3 土木構造物

都市公園内に設置されている土木構造物の代表として、橋梁およびコンクリート構造物（擁壁、壁等）の点検ポイントを示す。

(1) 橋 梁

橋梁は上部工・下部工の主要部位材に着目し、部位・部材ごとに点検を行う。漏水等により桁端部や支承は、特に劣化しやすいためできるだけ近接して調査を行う必要がある。

- 鋼部材において腐食の状況
- 鋼部材において亀裂・破断はないか
- 鋼部材におけるボルトの脱落はないか
- コンクリート橋においてひび割れ・漏水・遊離石灰の状況
- コンクリート橋において鉄筋露出はないか
- コンクリート橋において抜け落ちはないか
- 木材の腐朽、蟻害の状況
- 床版のひび割れの発生状況
- プレストレストコンクリートにおけるPCケーブル定着部の損傷はないか
- 橋梁の路面に凹凸はないか
- 支承部に機能障害は生じていないか
- 下部工に変状はないか

異常の判定例

PC 桁のひびわれ



鋼桁の防食機能劣化



橋脚柱（木）の腐朽



RC 床版のひびわれ



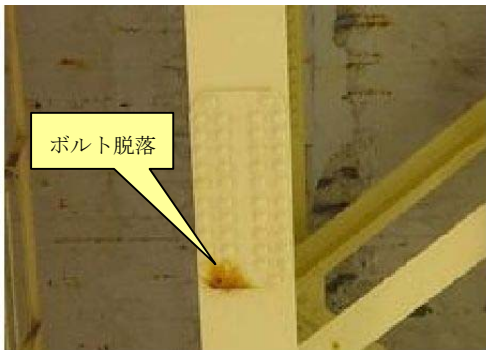
床版（木）の腐朽



支承の機能障害



主桁のボルト脱落



高欄（木）の腐朽



参考文献：道路橋に関する基礎データ収集要領（案）

平成 19 年 5 月 国土交通省国土技術政策総合研究所

(2) コンクリート構造物（擁壁、壁等）

コンクリート構造物は、壁面の劣化状況と本体の安定、排水施設等に注目して以下について点検を行う。

- コンクリートの剥離や浮き、ひび割れはないか
- 鉄筋露出箇所はないか
- 錆汁や白色生成物の析出はないか
- 豆板やコールドジョイント等の初期欠陥はないか
- 水平方向に移動はないか
- 不同沈下は生じていないか
- 傾斜や折損は生じていないか
- 水抜きパイプは適切に配置されているか
- 水抜きパイプに土砂詰まりはないか

異常の判定例

水和熱によるひびわれ



錆汁、白色生成物



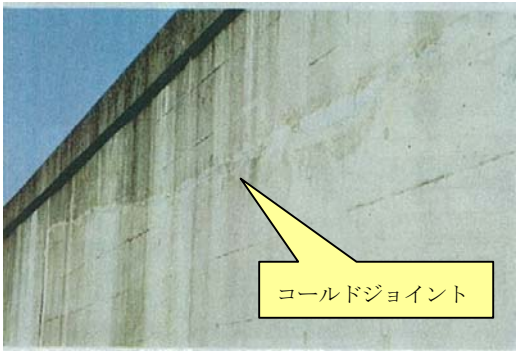
中性化によるひびわれ



アルカリ骨材反応によるひびわれ



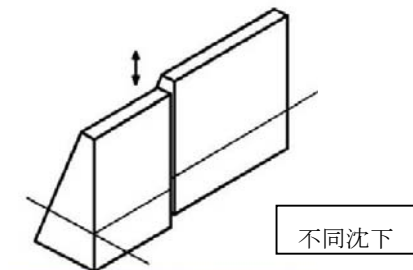
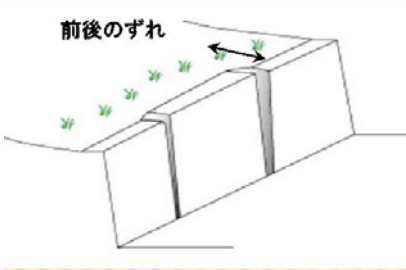
コンクリート初期欠陥



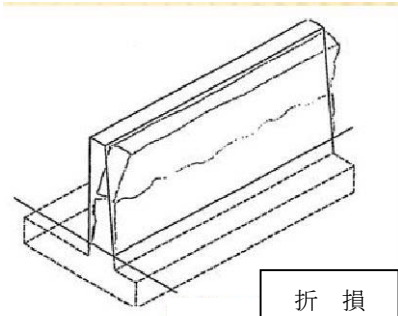
コンクリート初期欠陥



不同沈下



折損



参考文献：既存造成宅地擁壁の老朽化診断目視点検調査要領
平成 21 年 3 月 国土交通省国土技術政策総合研究所

4-2-4 建築物等

(1) 外部点検ポイント

施設の利用者、歩行者に対して外壁材や付属物等の落下の危険性はないか重点を置いて点検する。

外 壁

- 塗膜が剥がれたり、亀裂はないか
- モルタルやタイルの浮きはないか
- 鉄筋露出や錆汁の発生はないか
- 目地や建具廻りのシーリング材に亀裂はないか

異常の判定例

タイルの剥離



モルタルの剥離



タイルの剥離



屋上・屋根

- 屋上・屋根の仕上げ（防水層、屋根葺材）にひび割れ、浮き、劣化、腐食等はないか
- 庇、笠木、軒裏の剥落の危険性はないか
- ルーフドレイン廻りや雨樋の中に枯葉や土が堆積していたり、雑草が生えていないか

異常の判定例

土砂堆積



笠木のうき



(2) 内部点検ポイント

施設の利用者に対して、床の突起物によるつまづきや壁・天井から落下物の危険性はないか重点を置いて点検する。

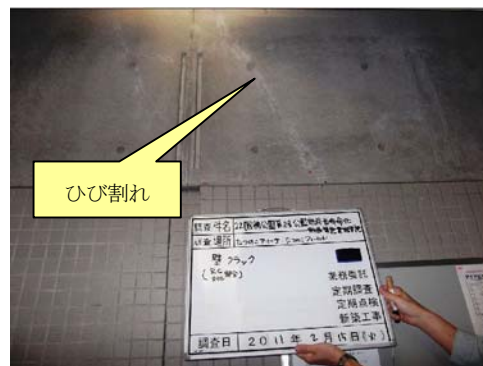
- 天井・壁・床の仕上げ材の欠損・剥離・浮きなどはないか
- 外壁からの雨漏り等はないか
- 床仕上げ材の磨耗していないか

異常の判定例

天井の雨漏り



壁面ひびわれ



壁面仕上げ材の破損



参考文献：建築物点検マニュアル・同解説

平成 18 年 7 月 国土交通省大臣官房官庁営繕部
施設管理者のための公共建築物点検マニュアル H19 年 3 月 平塚市
市有施設安全点検マニュアル H20 年 3 月 長岡市

5. 健全度判定の事例

5-1 公園施設の健全度判定の事例






公園施設を構成する部位・部材は、構造的に重要度が異なるため、全体的な総合判定を行う際には、その重要度も加味しながら施設の健全度を評価する必要がある。部位・部材毎の健全度判定を行ったうえで、公園施設の総合的な健全度を判定する事例を P19～P39 に示す。

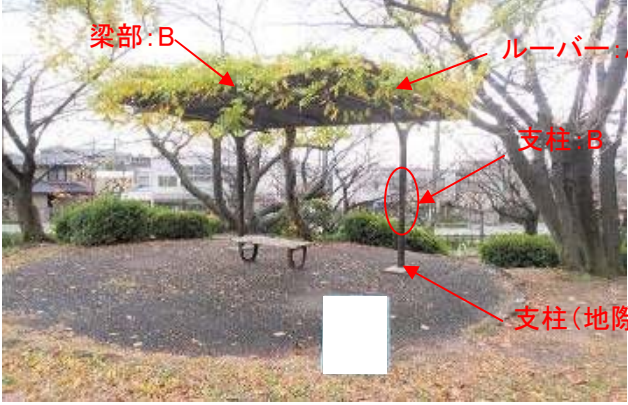




5-2 部位・部材毎の健全度判定の事例

公園施設の総合的な健全度判定を行う際の一助として、主な公園施設の部位・部材毎の損傷に対する健全度判定事例を P41～P59 に示す。



橋梁の健全度判定事例については、「道路橋の定期点検に関する参考資料 橋梁損傷事例写真集（国土交通省国土技術政策総合研究所）」に損傷事例が掲載されているため、そちらを参照されたい。

公園施設の健全度判定の事例

施設名	パーゴラ			経過年数	3年		
健全度判定	A						
全体写真				コメント			
				<p>コンクリート部材のひびわれ、鋼材の防食機能劣化、木材の腐朽等の劣化は未だ確認されず、健全な状態である。</p>			
損傷写真							
部材名	支柱	写真番号	1	部材名	梁・継ぎ手部	写真番号	2
材質	コンクリート	健全度	A	材質	鋼	健全度	A
							
コメント	ひびわれや剥離等は確認されない			コメント	防食機能劣化や腐食は確認されない 継ぎ手部のボルトにゆるみ等も確認されない		
部材名	ルーバー	写真番号	3	部材名	梁	写真番号	4
材質	木	健全度	A	材質	鋼	健全度	A
							
コメント	木材に腐朽等は確認されない			コメント	防食機能劣化や腐食は確認されない		








施設名		パーゴラ		経過年数		28年	
健全度判定		B					
全体写真				コメント			
				<p>全体的に塗膜劣化が進行しているが、錆は表面的であり、著しい板厚減少は見られない。状況に応じて再塗装が望ましい。</p>			
損傷写真							
部材名	梁部	写真番号	1	部材名	ルーバー	写真番号	2
材質	鋼	健全度	B	材質	木	健全度	A
							
コメント	全体的に塗膜劣化が進行、表面的な錆が部分的に発生している			コメント	全体的に変色しているが、腐朽等は発生していない		
部材名	支柱	写真番号	3	部材名	支柱(地際)	写真番号	4
材質	鋼	健全度	B	材質	鋼	健全度	B
							
コメント	全体的に塗膜劣化が進行し、塗膜剥がれが発生している。			コメント	地覆部で塗膜が剥がれ、部分的に錆が発生している		

施設名	パーゴラ			経過年数	28年		
健全度判定	C						
全体写真				コメント			
				<p>梁部の取付金具が腐食し、ボルトが脱落しており、部分補修が必要と考えられる。また、地際部で断面減少を伴う錆が発生しており、早急な対応が望ましい。</p>			
損傷写真							
部材名	梁部	写真番号	1	部材名	梁部	写真番号	2
材質	鋼	健全度	B	材質	鋼	健全度	C
コメント	全体的に塗膜劣化が進行し、全体的に表面的な錆が発生している			コメント	取付金具が腐食し、ボルトが脱落している箇所がある		
部材名	支柱	写真番号	3	部材名	支柱(地際)	写真番号	4
材質	鋼	健全度	B	材質	鋼	健全度	C
コメント	表面的な錆が部分的に発生している			コメント	地際部で断面減少を伴う錆が発生している		

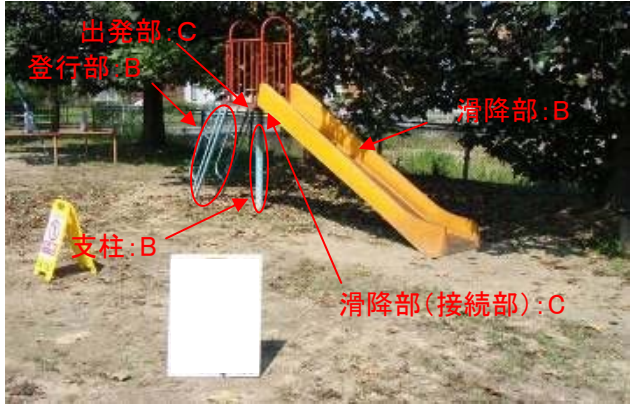






施設名		パーゴラ		経過年数		29年	
健全度判定		D					
全体写真				コメント			
				<p>主要部材である梁部において、全体的に断面減少が生じて、部分的に孔食が発生している。支柱の地際部でも断面減少を伴う錆が発生しており、早急に補修対策が必要と考えられる。</p>			
損傷写真							
部材名	梁部	写真番号	1	部材名	梁部	写真番号	2
材質	鋼	健全度	D	材質	鋼	健全度	D
							
コメント	梁部の全体的に錆が生じており、部分的に断面欠損が発生している			コメント	表面に著しい膨張が生じており、部分的に断面欠損が発生している		
部材名	ルーバー	写真番号	3	部材名	支柱(地際)	写真番号	4
材質	鋼	健全度	B	材質	鋼	健全度	C
							
コメント	塗膜がはがれ、表面的な錆が部分的に発生している			コメント	地際部で断面減少を伴う錆が発生している		

施設名		照明灯							
健全度判定		A	経過年数	不明	健全度判定		B	経過年数	30年
全体写真				全体写真					
コメント	支柱・灯具ともに劣化及び損傷は確認されず健全な状態である。			コメント	全体的には、塗装劣化が進行しているが、錆の発生は部分的で軽微であるため、早急に再塗装をする必要はなく、今後の定期点検の結果を踏まえ対応する。				
損傷写真				損傷写真					
部材名	照明部	写真番号	1	部材名	照明部	写真番号	1		
材質	鋼	健全度	A	材質	鋼	健全度	A		
									
コメント	灯具は健全である			コメント	劣化変状は見られない				
損傷写真				損傷写真					
部材名	支柱	写真番号	2	部材名	支柱	写真番号	2		
材質	鋼	健全度	A	材質	鋼	健全度	B		
									
コメント	塗装劣化は進行しているが、錆の発生は見られない			コメント	全体的に防食機能劣化が進行し、部分的に表面的な錆が発生している				
損傷写真				損傷写真					
部材名	支柱(地際)	写真番号	3	部材名	支柱(地際)	写真番号	3		
材質	鋼	健全度	A	材質	鋼	健全度	B		
									
コメント	地際部に錆の発生は見られない			コメント	地際部で表面的な錆が発生している				

施設名				照明灯			
健全度判定	C	経過年数	51年	健全度判定	D	経過年数	34年
全体写真				全体写真			
コメント	全体的に塗装劣化が進行している。錆の発生は部分的で軽微であるが、地際部にて断面減少が生じているため、早急な対応が望ましい。			コメント	全体的に塗装劣化が進行している。錆の発生は部分的で軽微であるが、地際部にて断面欠損が生じているため、早急な対応が望ましい。		
損傷写真				損傷写真			
部材名	照明部	写真番号	1	部材名	照明部	写真番号	1
材質	鋼	健全度	C	材質	鋼	健全度	B
コメント	笠の全体に表面的な錆が発生している			コメント	笠に防食機能劣化が進行しており、点錆が発生している		
損傷写真				損傷写真			
部材名	支柱	写真番号	2	部材名	支柱	写真番号	2
材質	鋼	健全度	B	材質	鋼	健全度	B
コメント	全体的に防食機能劣化が進行し、一部で表面的な錆が発生している			コメント	全体的に防食機能劣化が進行し、一部で表面的な錆が発生している		
損傷写真				損傷写真			
部材名	支柱(地際)	写真番号	3	部材名	支柱(地際)	写真番号	3
材質	鋼	健全度	C	材質	鋼	健全度	D
コメント	地際部で断面減少が生じている			コメント	地際部で断面欠損が見られる		

施設名		すべり台		経過年数		3年	
健全度判定		A					
全体写真				コメント			
				全体的に健全であり、地際部に防食対策が施されており、補修の必要はない。			
損傷写真							
部材名	出発部	写真番号	1	部材名	支柱	写真番号	2
材質	鋼	健全度	A	材質	鋼	健全度	A
							
コメント	部分的に塗装劣化は見られるが、錆の発生は見られない			コメント	塗装の光沢も残っており、錆の発生も見られない		
部材名	支柱(地際)	写真番号	3	部材名	登行部(地際)	写真番号	4
材質	鋼	健全度	A	材質	鋼	健全度	A
							
コメント	地際部には防食テープが施され、錆の発生は見られない			コメント	地際部には防食テープが施され、錆の発生は見られない		
部材名	滑降部(地際)	写真番号	5	部材名	滑降部	写真番号	6
材質	鋼	健全度	A	材質	FRP	健全度	A
							
コメント	地際部には防食テープが施され、錆の発生は見られない			コメント	劣化は見られない		

施設名		すべり台		経過年数		不明	
健全度判定		B					
全体写真				コメント			
				<p>全体的に塗装劣化が進行しているが、錆は表面的であり、早急に再塗装をする必要はなく、今後の定期点検の結果を踏まえ対応する。</p>			
<p style="text-align: center;">損傷写真</p>							
部材名	登行部	写真番号	1	部材名	出発部	写真番号	2
材質	鋼	健全度	B	材質	鋼	健全度	B
コメント	塗装劣化が進行し、全体に表面的な錆が発生している			コメント	上面の全体に表面的な錆が発生している		
部材名	支柱(地際)	写真番号	3	部材名	登行部(地際)	写真番号	4
材質	鋼	健全度	B	材質	鋼	健全度	B
コメント	全体的に塗装劣化が進行しており、地際部に表面的な錆が発生している			コメント	全体的に塗装劣化は進行しており、地際部で錆が発生している		
部材名	滑降部	写真番号	5	部材名	滑降部	写真番号	6
材質	鋼	健全度	B	材質	ステンレス	健全度	A
コメント	側壁の一部に錆の発生が見られる			コメント	劣化は見られない		

施設名		すべり台		経過年数		13年	
健全度判定		C					
全体写真				コメント			
				<p>全体的に塗装劣化が進行し、錆が発生している。特に出発部下面では、断面減少が見られたため、早急な対応が望ましい。</p>			
損傷写真							
部材名	登行部	写真番号	1	部材名	出発部	写真番号	2
材質	鋼	健全度	B	材質	鋼	健全度	C
							
コメント	塗装劣化が進行し、全体に表面的な錆が発生している			コメント	下面の全面的に錆が発生し、部分的に断面減少も見られる		
部材名	支柱	写真番号	3	部材名	支柱(地際)	写真番号	4
材質	鋼	健全度	B	材質	鋼	健全度	B
							
コメント	全体的に塗装劣化が進行し、部分的に錆が発生している			コメント	地際部で表面的な錆が発生している		
部材名	滑降部(接続部)	写真番号	5	部材名	滑降部	写真番号	6
材質	鋼	健全度	C	材質	FRP	健全度	B
							
コメント	接続部(ボルト)に腐食が発生している。			コメント	全体的に劣化が進行している		

施設名		すべり台		経過年数		26年	
健全度判定		C					
全体写真				コメント			
				<p>全体的に塗装劣化が進行し、錆が発生している。特に登行部・出発部下面では、断面減少が進行しているため、早急に対応することが望ましい。</p>			
損傷写真							
部材名	登行部	写真番号	1	部材名	出発部	写真番号	2
材質	鋼	健全度	C	材質	鋼	健全度	C
コメント	全面的に錆が発生し、下面では部分的に断面減少、断面欠損が見られる			コメント	下面で部分的に断面減少が発生している		
部材名	支柱	写真番号	3	部材名	支柱(地際)	写真番号	4
材質	鋼	健全度	B	材質	鋼	健全度	B
コメント	全体に表面的な錆が発生している			コメント	地際部で表面的な錆が発生している		
部材名	登行部(地際)	写真番号	5	部材名	滑降部(接続部)	写真番号	6
材質	鋼	健全度	B	材質	鋼	健全度	C
コメント	地際部で表面的な錆が発生している			コメント	全面的に錆が発生、軽微な断面減少も見られる		

施設名	すべり台	経過年数	23年
-----	------	------	-----

健全度判定	D
-------	---

全体写真	コメント
	<p>全体的に鋼部材の劣化が進行している。特に地際部では、著しい腐食、断面減少も見られることから、早急に対応が必要である。</p>

損傷写真

部材名	登行部	写真番号	1	部材名	出発部	写真番号	2
材質	鋼	健全度	C	材質	鋼	健全度	C



コメント	全面的に錆が発生し、下面では部分的に断面減少、断面欠損が見られる	コメント	下面では全面的に断面減少が見られる
------	----------------------------------	------	-------------------

部材名	柱部(地際)	写真番号	3	部材名	登行部(地際)	写真番号	4
材質	鋼	健全度	D	材質	鋼	健全度	D



コメント	地際部の広い範囲に錆による断面減少が発生している	コメント	地際に断面減少が発生している
------	--------------------------	------	----------------

部材名	滑降部(接続部)	写真番号	5	部材名	出発部(手摺)	写真番号	6
材質	鋼	健全度	C	材質	鋼	健全度	B



コメント	全面的に激しい腐食が発生している	コメント	塗装劣化が進行し、表面的な錆が発生している
------	------------------	------	-----------------------

施設名	ぶらんこ			経過年数	6年		
健全度判定	A						
全体写真				コメント			
				全体的に健全であるため、補修の必要はない。			
損傷写真							
部材名	梁部	写真番号	1	部材名	吊り金具	写真番号	2
材質	鋼	健全度	A	材質	鋼	健全度	A
							
コメント	塗装の光沢も残っており、継手金具付近においても錆の発生は見られない			コメント	塗装の光沢も残っており、磨耗の進行も少ない		
部材名	支柱(地際)	写真番号	3	部材名	吊り部材	写真番号	4
材質	鋼	健全度	A	材質	鋼	健全度	A
							
コメント	支柱は全体的に健全で、地際部でも錆の発生は見られない			コメント	磨耗は軽微であり問題はない		

施設名		ぶらんこ		経過年数		13年	
健全度判定		B					
全体写真				コメント			
				<p>全体的に塗装劣化が進行しているが、錆の発生は部分的で軽微であるため、早急に再塗装をする必要はない。今後の定期点検の結果により状況により、対応する。</p>			
損傷写真							
部材名	梁部	写真番号	1	部材名	継手金具	写真番号	2
材質	鋼	健全度	B	材質	鋼	健全度	A
コメント	全体的に塗装劣化は進行しており、一部で塗膜がはがれている箇所がある			コメント	全体的に塗装劣化は進行しているが、錆は発生していない		
部材名	吊り金具	写真番号	3	部材名	支柱(地際)	写真番号	4
材質	鋼	健全度	B	材質	鋼	健全度	B
コメント	全体的に塗装劣化が進行しており、一部で塗膜が剥がれている箇所がある			コメント	全体的に塗装劣化は進行している		
部材名	着座部	写真番号	5	部材名	着座部	写真番号	6
材質	ゴム	健全度	B	材質	ゴム・鋼	健全度	A
コメント	着座部に欠損が見られる			コメント	取付ボルトには錆の発生はない		

施設名	ぶらんこ	経過年数	4年
-----	------	------	----

健全度判定	B
-------	---

全体写真	コメント
	<p>全体的に塗装劣化が進行しているが、錆の発生は部分的で軽微であるため、今後の定期点検の結果により状況により、対応する。</p>

損傷写真

部材名	梁部	写真番号	1	部材名	継手金具	写真番号	2
材質	鋼	健全度	B	材質	鋼	健全度	B



コメント 全体的に塗装劣化が進行し、一部で錆が発生している

コメント 全体的に塗装劣化が進行している。取付ボルトに表面的な錆が発生している

部材名	吊り金具	写真番号	3
材質	鋼	健全度	B

部材名	吊り部材	写真番号	4
材質	鋼	健全度	B



コメント 全体的に塗装劣化は進行しており、取付けボルト等に表面的な錆が発生している

コメント 吊り金具に軽微な磨耗が発生している

部材名	支柱	写真番号	5
材質	鋼	健全度	B

部材名	支柱(地際)	写真番号	6
材質	鋼	健全度	B



コメント 全体的に塗装劣化が進行し、部分的に錆が発生している

コメント 全体的に塗装劣化が進行しており、地際部で錆が発生している

施設名	ぶらんこ			経過年数	14年		
健全度判定	C						
全体写真				コメント			
				<p>支柱・梁部は、全体的に塗装劣化が進行し、部分的に錆が発生している程度であるが、継手金具・吊り金具では激しい腐食が生じており、早急な対応が望ましい。</p>			
<p style="text-align: center;">損傷写真</p>							
部材名	梁部	写真番号	1	部材名	継手金具	写真番号	2
材質	鋼	健全度	B	材質	鋼	健全度	C
コメント	全体的に塗装劣化が進行し、広がりのある錆が部分的に生じている			コメント	全体的に錆が発生しており、部分的に断面減少が進行している		
部材名	吊り金具	写真番号	3	部材名	支柱(地際)	写真番号	4
材質	鋼	健全度	C	材質	鋼	健全度	B
コメント	全体に激しい錆が発生している			コメント	全体的に塗装劣化が進行しており、地際部では錆が発生している		
部材名	吊り部材	写真番号	5	部材名	着座部	写真番号	6
材質	鋼	健全度	B	材質	鋼・その他	健全度	B
コメント	軽微な磨耗が生じている			コメント	着座部の取付ボルトに表面的な錆が発生、ゴムカバーの劣化が進行している		

施設名	ぶらんこ			経過年数	18年		
健全度判定	C						
全体写真				コメント			
				<p>支柱・梁部は、全体に表面的な錆が発生している。吊り金具で激しい腐食、吊り部材で磨耗が生じており、早急な対応が必要。</p>			
損傷写真							
部材名	梁部	写真番号	1	部材名	梁部	写真番号	2
材質	鋼	健全度	B	材質	鋼	健全度	C
コメント	全体的に塗装劣化が進行し、一部で広がりのある錆が生じている			コメント	継手金具付近で激しい腐食が発生している		
部材名	支柱	写真番号	3	部材名	支柱(地際)	写真番号	4
材質	鋼	健全度	B	材質	鋼	健全度	B
コメント	全体的に表面的な錆が発生している			コメント	地際部で表面的な錆が発生している		
部材名	吊り金具	写真番号	5	部材名	吊り部材	写真番号	6
材質	鋼	健全度	C	材質	鋼	健全度	C
コメント	全体に激しい錆が発生している			コメント	吊り部材に著しい磨耗が発生している		

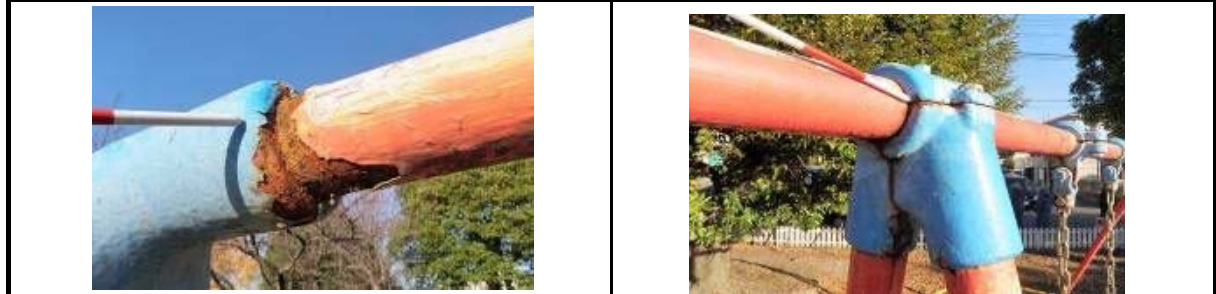
施設名	ぶらんこ	経過年数	30年
-----	------	------	-----

健全度判定	D
-------	---

全体写真	コメント
	<p>全体的に塗装劣化が著しく、特に継手部付近では、激しい腐食が発生しており、断面減少が見られる。早急に全面的な補修(再塗装)を実施することが望ましい。</p>

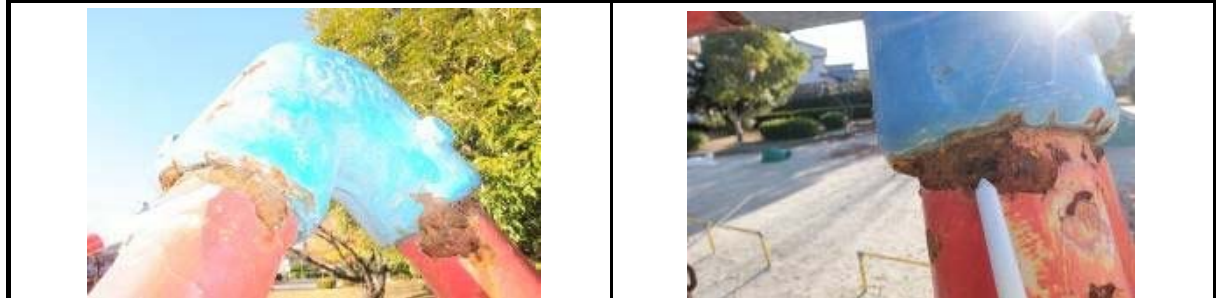
損傷写真

部材名	梁部	写真番号	1	部材名	継手金具	写真番号	2
材質	鋼	健全度	D	材質	鋼	健全度	B



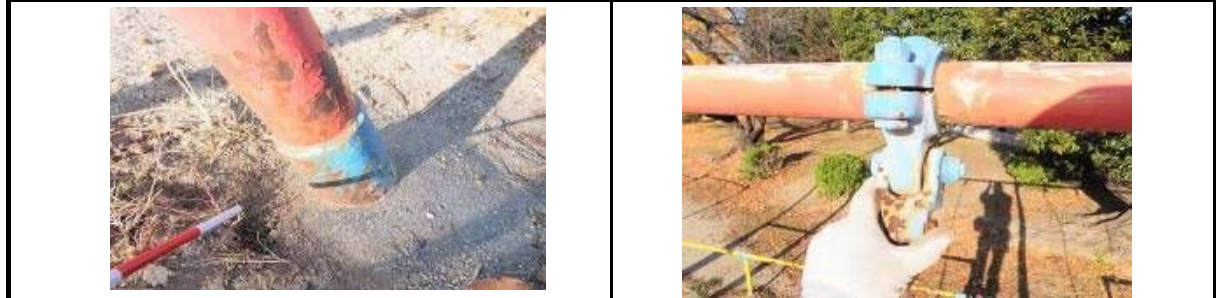
コメント	全体的に塗装劣化が進行しており、継手金具付近で激しい断面減少が生じている	コメント	接合部で錆が発生している
------	--------------------------------------	------	--------------

部材名	支柱	写真番号	3	部材名	支柱	写真番号	4
材質	鋼	健全度	D	材質	鋼	健全度	D



コメント	全体的に塗装劣化は進行しており、継手金具付近で激しい断面減少が生じている	コメント	全体的に塗装劣化は進行しており、継手金具付近で激しい断面減少が生じている
------	--------------------------------------	------	--------------------------------------

部材名	支柱(地際)	写真番号	5	部材名	吊り金具	写真番号	6
材質	鋼	健全度	B	材質	鋼	健全度	B



コメント	地際部で表面的な錆が発生している	コメント	全体的に塗装劣化が進行し、一部で表面的な錆が発生している
------	------------------	------	------------------------------

施設名		便所		経過年数		4年	
健全度判定		A					
全体写真				コメント			
				更新後間もないため、外観、内観目視、機能点検において問題はない。			
損傷写真							
部材名	内壁	写真番号	1	部材名	内壁・トップライト	写真番号	2
材質	コンクリート	健全度	A	材質	塗装、アクリル	健全度	A
							
コメント	異常なし			コメント	異常なし		
部材名	内壁・床	写真番号	3	部材名	内壁・床	写真番号	4
材質	塗装、タイル	健全度	A	材質	塗装、タイル	健全度	A
							
コメント	異常なし			コメント	異常なし		





















施設名		便所		経過年数		20年	
健全度判定		B					
全体写真				コメント			
				<p>経過年数の割に全体として著しく劣化が進行しているわけではないが、外壁や屋根ふき材にはひび割れや風化等の劣化が部分的に生じている。また、照明器具等の金属部には飛来塩分の影響で点錆が発生している。</p>			
損傷写真							
部材名	外壁	写真番号	1	部材名	屋根	写真番号	2
材質	コンクリート	健全度	B	材質	ストレート	健全度	B
							
コメント	壁面に幅0.3mm程度のひび割れが発生している箇所がある			コメント	一部風化は見られるが、雨漏れ等の異常は見られない		
部材名	内壁・床	写真番号	3	部材名	照明器具	写真番号	4
材質	タイル	健全度	A	材質	鋼	健全度	B
							
コメント	内壁および仕上げタイルは健全である			コメント	金属部分に点錆が発生している		

施設名		便所		経過年数		29年	
健全度判定		C					
全体写真				コメント			
				<p>設置後30年近くが経過し、全体的に劣化が進行している。外壁や屋根コンクリート部には顕著なひび割れが生じており、シャッターカバーや配水管等の金属部分は、沿岸部であることから飛来塩分の影響で錆・腐食が全体的に進行している。</p>			
損傷写真							
部材名	天井	写真番号	1	部材名	屋根	写真番号	2
材質	コンクリート	健全度	C	材質	コンクリート	健全度	C
							
コメント	外壁に幅0.5mm以上の顕著なひび割れが生じている			コメント	屋根鼻隠し部に亀裂が生じている		
部材名	内壁・床	写真番号	3	部材名	トイレドア	写真番号	4
材質	タイル	健全度	B	材質	合板	健全度	B
							
コメント	床タイルは僅かに磨耗が生じている			コメント	ドア塗装が劣化している		
部材名	シャッターカバー	写真番号	5	部材名	配管	写真番号	6
材質	鋼	健全度	C	材質	鋼	健全度	C
							
コメント	シャッターカバー全面に錆が発生している			コメント	配水管全面に錆が発生している		





















施設名		便所		経過年数		38年	
健全度判定		D					
全体写真				コメント			
				<p>設置後40年近くが経過しており、屋根の防水機能が劣化、RC屋根の軒裏まで水が廻り込んで雨漏りが生じている。軒先の亀裂が大きくなっている部分では、仕上げモルタル落下の危険性が認められた。サッシは木製で腐食が進んでいて、窓のがたつき、開閉不良が発生している。トイレドアは合板の腐食が進行し、ドアノブの錆、ビスの欠損、ラッチの破損が見られ、トイレとしての利用機能が極端に低下している。また、汲み取り式で衛生面でも問題がある。利用禁止が必要であり、施設の更新が望ましい。</p>			
損傷写真							
部材名	軒裏	写真番号	1	部材名	扉	写真番号	2
材質	コンクリート	健全度	D	材質	木製	健全度	C
							
コメント	屋根防水が劣化し、軒裏に亀裂と漏水が見られる。モルタル片落下の恐れがある			コメント	木製サッシが腐食し、窓のがたつき、開閉不良が生じている		
部材名	トイレドア	写真番号	3	部材名	ドアノブ・ラッチ	写真番号	4
材質	合板	健全度	D	材質	ステンレス	健全度	D
							
コメント	トイレドアの合板は水漏れによる腐食が進行し、間仕切りとしての機能低下が著しい			コメント	ドアノブ腐食・留めビス欠損、ラッチ破損によりトイレドアとして機能不能になっている		
部材名	配管	写真番号	5				
材質	鋼材	健全度	D				
							
コメント	配管継ぎ手から水漏れ。壁内部での漏水により、躯体への影響が懸念される						





















部位・部材毎の健全度判定の事例

施設名	パーゴラ・四阿・シェルター等				材質	鋼													
健全度判定 A																			
部材名	梁部	経過年数	不明	部材名	梁部	経過年数	不明	部材名	ルーバー	経過年数	不明	部材名	支柱	経過年数	10年	部材名	支柱(地際)	経過年数	11年
																			
コメント	錆の発生は見られない			コメント	塗膜劣化は進行しているが、錆の発生は見られない			コメント	塗膜劣化は進行しているが、錆は生じていない			コメント	塗装の光沢も残っており、劣化の進行は小さい			コメント	塗膜劣化は進行しているが、錆は生じていない		
健全度判定 B																			
部材名	梁部	経過年数	13年	部材名	梁部	経過年数	不明	部材名	ルーバー	経過年数	不明	部材名	支柱	経過年数	25年	部材名	支柱(地際)	経過年数	10年
																			
コメント	全体的に塗膜劣化が進行し、部分的に錆が発生している			コメント	全体的に塗膜劣化が進行し、部分的に錆が発生している			コメント	全体的に塗膜劣化が進行し、点錆が発生している			コメント	表面的な錆が部分的に発生している			コメント	地際部で部分的に錆が発生している		
健全度判定 C																			
部材名	梁部	経過年数	29年	部材名	梁部	経過年数	不明	部材名	ルーバー	経過年数	不明	部材名	支柱	経過年数	28年	部材名	支柱(地際)	経過年数	22年
																			
コメント	全体的に塗膜劣化が進行し、部分的に断面減少が発生している			コメント	全体的に錆が発生している			コメント	全体的に腐食が進行し、部分的に断面減少が発生している			コメント	全体的に塗膜劣化が進行し、広がりのある腐食が複数個所で発生している			コメント	地際部で断面膨張が発生している		
健全度判定 D																			
部材名	梁部	経過年数	28年	部材名	梁部	経過年数	19年	部材名	ルーバー	経過年数	不明	部材名	支柱	経過年数	35年	部材名	支柱(地際)	経過年数	33年
																			
コメント	梁部の接合部に断面欠損が生じている			コメント	全体的に断面減少が発生している			コメント	全体的に腐食が進行し、部分的(端部)に断面欠損が発生している			コメント	地際部で断面減少が発生しており、断面の大部分で断面欠損が発生している			コメント	地際部で断面減少が発生しており、一部に断面欠損が発生している		

施設名		パーゴラ・四阿・シェルター等		材質		木																							
健全度判定		A																											
部材名	ルーバー	経過年数	26年	部材名	天井	経過年数	不明	部材名	支柱	経過年数	不明	部材名	支柱(地際)	経過年数	不明	部材名	着座部	経過年数	1年										
										コメント		健全		コメント		健全													
健全度判定		B																											
部材名	ルーバー	経過年数	26年	部材名	天井	経過年数	23年	部材名	支柱	経過年数	不明	部材名	支柱(地際)	経過年数	不明	部材名	着座部	経過年数	26年										
										コメント		全体的に腐朽が進行している		コメント		天井材の一部が劣化している		コメント		軽微な割れが生じている		コメント		地際部で軽微な腐朽が発生している		コメント		軽微な腐朽が生じている	
健全度判定		C																											
部材名	ルーバー	経過年数	38年	部材名	天井	経過年数	不明	部材名	支柱	経過年数	5年	部材名	支柱(地際)	経過年数	不明	部材名	着座部	経過年数	21年										
										コメント		腐朽が進行し、断面減少が生じている		コメント		天井材の劣化が進行している		コメント		幅の広い割れが生じている		コメント		地際部で腐朽が進行している		コメント		腐朽が進行し部材厚が減少している	
健全度判定		D																											
部材名	ルーバー	経過年数	不明	部材名	天井	経過年数	不明	部材名	支柱	経過年数	不明	部材名	支柱(地際)	経過年数	30年	部材名	着座部	経過年数	不明										
										コメント		腐朽が進行し、断面欠損が生じている		コメント		天井材が大きく破損している		コメント		支柱で腐朽が進行し、断面欠損が生じている		コメント		腐朽が進行し、断面欠損が生じている		コメント		腐朽が進行し、断面欠損が生じている(当て板補修済み)	





















施設名		照明灯		材質		鋼材													
健全度判定		A																	
部材名	支柱部	経過年数	10年	部材名	支柱部	経過年数	不明	部材名	支柱部(地際)	経過年数	不明	部材名	支柱部(地際)	経過年数	8年	部材名	照明部	経過年数	24年
																			
コメント	塗装の光沢も残っており、劣化の進行は小さい			コメント	塗装劣化は進行しているが、錆の発生は見られない			コメント	地際部に錆の発生は見られない			コメント	地際部に錆の発生は見られない			コメント	塗装の光沢も残っており、劣化の進行は小さい		
健全度判定		B																	
部材名	支柱部	経過年数	21年	部材名	支柱部	経過年数	27年	部材名	支柱部(地際)	経過年数	不明	部材名	支柱部(地際)	経過年数	10年	部材名	照明部	経過年数	18年
																			
コメント	全体的に塗装劣化が進行し、表面的な錆が部分的に発生している			コメント	全体的に塗膜のはがれ、点錆が見られる			コメント	地際部で表面的な錆が発生している			コメント	地際部で表面的な錆が発生している			コメント	笠に表面的な錆が発生している		
健全度判定		C																	
部材名	支柱部	経過年数	不明	部材名	支柱部	経過年数	不明	部材名	支柱部(地際)	経過年数	不明	部材名	支柱部(地際)	経過年数	51年	部材名	照明部	経過年数	不明
																			
コメント	全体的に表面的な錆が発生している			コメント	全体的に表面的な錆が発生し、一部で断面減少が発生している			コメント	地際部で断面減少が発生している			コメント	地際部で断面膨張が生じている			コメント	笠の全体に表面的な錆が発生している		
健全度判定		D																	
部材名	支柱部	経過年数	不明	部材名	支柱部	経過年数	38年	部材名	支柱部(地際)	経過年数	不明	部材名	支柱部(地際)	経過年数	51年	部材名	照明部	経過年数	26年
																			
コメント	支柱の一部に断面欠損が発生している			コメント	支柱の一部に断面欠損が発生している			コメント	地際部で著しい断面減少が生じ、一部で断面欠損が発生している			コメント	地際部で著しい断面欠損が発生している			コメント	笠の全体に錆が発生し、一部で断面減少が生じている		








施設名		滑り台		材質		鋼													
健全度判定 A																			
部材名	柱部(地際)	経過年数	3年	部材名	柱部	経過年数	4年	部材名	登行部	経過年数	27年	部材名	登行部	経過年数	8年	部材名	登行部(地際)	経過年数	7年
																			
コメント	錆の発生は見られない			コメント	錆の発生は見られない			コメント	塗装劣化は進行しているが錆の発生は見られない			コメント	錆の発生は見られない			コメント	錆の発生は見られない		
健全度判定 B																			
部材名	柱部(地際)	経過年数	11年	部材名	柱部	経過年数	9年	部材名	登行部	経過年数	13年	部材名	登行部	経過年数	20年	部材名	登行部(地際)	経過年数	30年
																			
コメント	地際部で表面的な錆が発生している			コメント	柱頭部、ボルトに錆が発生			コメント	塗装劣化が進行し、部分的に表面的な錆が発生している			コメント	全体的に表面的な錆が発生している			コメント	地際部で表面的な錆が発生している		
健全度判定 C																			
部材名	柱部(地際)	経過年数	14年	部材名	柱部	経過年数	17年	部材名	登行部	経過年数	23年	部材名	登行部	経過年数	17年	部材名	登行部(地際)	経過年数	19年
																			
コメント	地際部で断面膨張が発生している			コメント	全面に錆が発生し、軽微な断面減少が発生している			コメント	部分的な錆により、一部で断面欠損が発生している			コメント	全面に錆が発生し、軽微な断面減少が発生している			コメント	地際部で断面膨張が発生している		
健全度判定 D																			
部材名	柱部(地際)	経過年数	24年	部材名	柱部	経過年数	22年	部材名	登行部	経過年数	20年	部材名	登行部	経過年数	20年	部材名	登行部(地際)	経過年数	19年
																			
コメント	地際部で激しい断面減少が発生している			コメント	全面に錆による断面減少が発生、一部で断面欠損が発生している			コメント	支柱付近に面積の大きな断面欠損が発生している			コメント	全面に錆による断面減少が発生、一部で断面欠損が発生している			コメント	地際部で断面欠損が発生している		

施設名		滑り台		材質		鋼													
健全度判定		A																	
部材名	出発部	経過年数	2年	部材名	出発部	経過年数	4年	部材名	滑降部	経過年数	3年	部材名	滑降部	経過年数	3年	部材名	滑降部(接続部)	経過年数	7年
																			
コメント		錆の発生は見られない		コメント		塗装の光沢も残っており、劣化の進行は小さい		コメント		全体的に塗装の光沢も残っており、劣化の進行は小さい		コメント		全体的に塗装の光沢も残っており、劣化の進行は小さい		コメント		塗装の光沢も残っており、劣化の進行は小さい	
健全度判定		B																	
部材名	出発部	経過年数	18年	部材名	出発部	経過年数	9年	部材名	滑降部	経過年数	7年	部材名	滑降部	経過年数	12年	部材名	滑降部(接続部)	経過年数	14年
																			
コメント		塗装劣化が進行し、一部で表面的な錆が発生している		コメント		一部で表面的な錆が発生している		コメント		側壁に表面的な錆が発生している		コメント		側壁に表面的な錆が発生している		コメント		塗装劣化が進行し、部分的に錆が発生している	
健全度判定		C																	
部材名	出発部	経過年数	15年	部材名	出発部	経過年数	27年	部材名	滑降部	経過年数	28年	部材名	滑降部	経過年数	28年	部材名	滑降部(接続部)	経過年数	24年
																			
コメント		全体に表面的な錆が発生している		コメント		全体に錆が発生し、一部で断面減少も見られる		コメント		側壁に激しい腐食が生じ、一部で断面減少が発生している		コメント		側壁下端に腐食が生じ、一部で断面減少が発生している。		コメント		全体に錆が発生、軽微な断面減少も見られる	
健全度判定		D																	
部材名	出発部	経過年数	15年	部材名	出発部	経過年数	21年	部材名	滑降部	経過年数	21年	部材名	滑降部	経過年数	23年	部材名	滑降部(接続部)	経過年数	21年
																			
コメント		全体に錆が発生、面積は小さいが多数箇所で見られる		コメント		全体に錆による断面減少が発生し、一部で断面欠損が発生している		コメント		側壁の一部に著しい断面減少が発生している		コメント		側壁に著しい断面減少が発生している。		コメント		全体に錆が発生、著しい断面減少も見られる	

施設名	ぶらんこ				材質	鋼													
健全度判定 A																			
部材名	支柱地際	経過年数	3年	部材名	支柱	経過年数	不明	部材名	梁部	経過年数	3年	部材名	梁部	経過年数	5年	部材名	継手金具	経過年数	4年
																			
コメント	錆の発生は見られない			コメント	塗装の光沢も残っており、劣化の進行は小さい			コメント	塗装の光沢も残っており、劣化の進行は小さい			コメント	塗装の光沢も残っており、劣化の進行は小さい			コメント	塗装の光沢も残っており、劣化の進行は小さい		
健全度判定 B																			
部材名	支柱地際	経過年数	18年	部材名	支柱	経過年数	28年	部材名	梁部	経過年数	28年	部材名	梁部	経過年数	16年	部材名	吊り金具	経過年数	13年
																			
コメント	地際部で表面的な錆が発生している			コメント	継手金具付近に表面的な錆が発生している			コメント	全体的に塗膜劣化が進行し、部分的に錆が発赤している			コメント	継手金具付近に表面的な錆が発生している			コメント	全体的に塗膜劣化が進行し、点錆が発生している		
健全度判定 C																			
部材名	支柱地際	経過年数	27年	部材名	支柱	経過年数	30年	部材名	梁部	経過年数	25年	部材名	梁部	経過年数	31年	部材名	継手金具	経過年数	21年
																			
コメント	地際部で断面膨張が発生している			コメント	継手金具付近に断面減少が発生している			コメント	全体的に表面的な錆が生じている			コメント	継手金具付近に断面減少が発生している			コメント	全体的に錆が発生し、部分的に断面減少が発生している		
健全度判定 D																			
部材名	支柱地際	経過年数	26年	部材名	支柱	経過年数	30年	部材名	梁部	経過年数	23年	部材名	梁部	経過年数	23年	部材名	継手金具	経過年数	24年
																			
コメント	地際部で断面減少が発生、部分的に断面欠損が発生している			コメント	継手金具付近で断面欠損が発生している			コメント	全体的に錆による断面減少が進行している			コメント	継手金具付近で断面欠損が発生している			コメント	全体的に錆が発生し、部分的に著しい断面減少が発生している		

施設名	ぶらんこ				材質	鋼													
健全度判定 A																			
部材名	吊り金具	経過年数	1年	部材名	吊り金具	経過年数	2年	部材名	境界柵支柱地際	経過年数	19年	部材名	境界柵横架材	経過年数	3年	部材名	境界柵継手金具	経過年数	1年
コメント		塗装の光沢も残っており、劣化の進行は小さい		コメント		磨耗の進行は小さい		コメント		錆の発生は見られない		コメント		錆の発生は見られず、劣化の進行は小さい		コメント		錆の発生は見られず、劣化の進行は小さい	
健全度判定 B																			
部材名	吊り金具	経過年数	21年	部材名	吊り金具	経過年数	22年	部材名	境界柵支柱地際	経過年数	9年	部材名	境界柵横架材	経過年数	15年	部材名	境界柵継手金具	経過年数	28年
コメント		全体的に塗膜劣化が進行し、表面的な錆が発生している		コメント		磨耗が生じている		コメント		地際部で表面的な錆が発生している		コメント		全体的に塗膜劣化が進行し、継手部付近に表面的な錆が発生している		コメント		全体的に塗膜劣化が進行し、部分的に表面的な錆が発生している	
健全度判定 C																			
部材名	吊り金具	経過年数	18年	部材名	吊り金具	経過年数	31年	部材名	境界柵支柱地際	経過年数	18年	部材名	境界柵横架材	経過年数	30年	部材名	境界柵継手金具	経過年数	不明
コメント		全体に錆が発生している		コメント		著しい磨耗が生じている		コメント		地際部で断面膨張が発生している		コメント		継手部付近に断面減少が発生している		コメント		全体的に錆が発生しており、軽微であるが断面減少も発生している	
健全度判定 D																			
部材名	吊り金具	経過年数	28年	部材名	吊り金具	経過年数	29年	部材名	境界柵支柱地際	経過年数	未定	部材名	境界柵横架材	経過年数	29年	部材名	境界柵継手金具	経過年数	26年
コメント		磨耗により全箇所ががたつきがある		コメント		磨耗により著しいがたつきがある		コメント		地際部で断面減少が発生、部分的に断面欠損が発生している		コメント		継手部付近に著しい断面減少が発生している		コメント		全体的に錆が発生しており、著しい断面減少が発生している	

施設名	便所				材質	コンクリート													
健全度判定 A																			
部材名	外壁/仕上げ	経過年数	12年	部材名	外壁	経過年数	12年	部材名	屋根軒裏	経過年数	30年	部材名	屋根軒裏	経過年数	34年	部材名	内壁	経過年数	5年
																			
コメント	躯体・塗装とも良好な状態である			コメント	躯体・塗装とも良好な状態である			コメント	躯体・塗装とも良好な状態である			コメント	躯体・塗装とも良好な状態である			コメント	躯体・タイル仕上げともに良好な状態にある		
健全度判定 B																			
部材名	外壁	経過年数	28年	部材名	外壁	経過年数	29年	部材名	屋根軒裏	経過年数	31年	部材名	屋根軒裏	経過年数	不明	部材名	内壁	経過年数	14年
																			
コメント	躯体のひび割れにより外壁及び塗装の剥離が生じている			コメント	外壁仕上げ材の剥離、塗装退色が進んでいる			コメント	軒裏に雨水が廻りこんでおり、劣化が進行している			コメント	軒裏に雨水が廻りこんでおり、劣化が進行している			コメント	内壁仕上げ剥離、塗装退色が進行している		
健全度判定 C																			
部材名	外壁	経過年数	40年	部材名	外壁	経過年数	35年	部材名	屋根軒裏	経過年数	31年	部材名	屋根軒裏	経過年数	39年	部材名	内壁	経過年数	28年
																			
コメント	ひび割れは無いが、躯体全体の劣化が著しく進んでいる			コメント	躯体に顕著なひび割れが発生しているが、錆汁や鉄筋露出までには至っていない			コメント	屋根防水の劣化に伴い、軒裏に水が廻り込みひび割れが発生している			コメント	ひび割れは無いが、躯体全体の劣化が著しく進んでいる			コメント	躯体ひび割れによる内壁の剥離が進行し、一部鉄筋が露出している		
健全度判定 D																			
部材名	外壁	経過年数	23年	部材名	屋根	経過年数	33年	部材名	屋根軒裏	経過年数	38年	部材名	屋根軒裏	経過年数	47年	部材名	天井	経過年数	38年
																			
コメント	躯体に2mm以上のひび割れが生じ、剥落の恐れがある			コメント	鉄筋が腐食し、かぶりコンクリートが剥離している			コメント	同上の劣化が進行し、軒先に浮きが発生し、落下の恐れがある			コメント	劣化が進行し、コンクリートの浮きや剥離が発生している			コメント	天井開口部にコンクリート剥離が発生している		

施設名	便所				材質				FRP材・アクリル・木製サッシ等										
健全度判定 A																			
部材名	パネル外側	経過年数	22年	部材名	パネル内側	経過年数	22年	部材名	トップライト	経過年数	1年	部材名	窓サッシ	経過年数	15年	部材名	トイレドア・間仕切り	経過年数	15年
																			
コメント	経過年数の割りに退色も無く、良好な状態にある			コメント	経過年数の割りに退色も無く、良好な状態にある			コメント	更新後間もなくであり、劣化は見られない			コメント	管理が十分に行われており、劣化は見られない			コメント	良好な状態に維持されている		
健全度判定 B																			
部材名	パネル外側	経過年数	31年	部材名	パネル内側	経過年数	24年	部材名	トップライト	経過年数	24年	部材名	窓サッシ	経過年数	40年	部材名	トイレドア	経過年数	21年
																			
コメント	全体的に退色・劣化が進行している			コメント	パネル本体の劣化、塗装の退色が進行している			コメント	表面の軽微な汚れ・劣化があるが、採光上問題はない			コメント	保護材が退化し、劣化が進行している			コメント	ドア表面仕上げ材に劣化・剥がれが見られる		
健全度判定 C																			
部材名	パネル外側	経過年数	31年	部材名	パネル内側	経過年数	31年	部材名	トップライト	経過年数	31年	部材名	窓サッシ	経過年数	15年	部材名	トイレドア	経過年数	30年
																			
コメント	全体に退色・劣化が進行し、下部コーナー部に亀裂が発生			コメント	パネルの劣化・損傷が著しく、FRP積層が露出している			コメント	本体及び塗装の劣化、コケが伸張しており、採光機能が低下			コメント	防食処理低下により、サッシの腐食が著しく進行している			コメント	ドア下部の腐食が著しく進行している		
健全度判定 D																			
部材名	パネル外側	経過年数	19年	部材名	パネル内側	経過年数	29年	部材名	トップライト	経過年数	19年	部材名	窓サッシ	経過年数	40年	部材名	トイレドア	経過年数	38年
																			
コメント	全体的な変形によるひび割れにより、内部漏水、汚損も著しい			コメント	壁上部・天井部が劣化し、著しい露出跡が見られる			コメント	全体的な変形・劣化により、トップライト取付部から漏水が見られる			コメント	サッシ腐食・破損・アクリル板欠損で、外部遮断ができていない状況			コメント	ドア表面の仕上げ、積層部の腐食が著しく利用に耐えかねる状況		

施設名	便所				材質	鋼・SUS・アルミ									
健全度判定 A															
部材名	配水管	経過年数	5年	部材名	換気ガラリ	経過年数	不明	部材名	ドアノブ、ラッチ	経過年数	31年	部材名	配管等固定金物	経過年数	1年
															
コメント	良好な状態に維持されている			コメント	良好な状態に維持されている			コメント	補修後で錆・がたつきも無く、機能的に良好な状態			コメント	給水管凍結防止材、固定金具とも良好な状態である		
健全度判定 B															
部材名	照明器具	経過年数	20年	部材名	分電盤	経過年数	22年	部材名	ドアノブ、ラッチ	経過年数	33年	部材名	配管等固定金物	経過年数	22年
															
コメント	点錆が発生している			コメント	点錆が発生している			コメント	アルミドア取付部から錆が発生			コメント	電気配管固定金物の留めビスが腐食し始めている		
健全度判定 C															
部材名	配水管	経過年数	29年	部材名	分電盤	経過年数	31年	部材名	ドアノブ、ラッチ	経過年数	31年	部材名	配管等固定金物	経過年数	28年
															
コメント	全体的に錆が見られ、板厚の減少が見られる			コメント	全体的に錆が見られ、板厚の減少が見られる			コメント	ラッチ台座留めビスの緩みによるがたつき			コメント	電気配管固定金物の腐食が著しく進行し、一部破断している		
健全度判定 D															
部材名	換気ガラリ	経過年数	47年	部材名	トイレドア	経過年数	不明	部材名	ドアノブ、ラッチ	経過年数	38年	部材名	配管等固定金物	経過年数	30年
															
コメント	腐食により完全に破損してしまっている			コメント	ドア枠に錆が見られ、断面欠損が生じている			コメント	ドア腐食により、ラッチ欠損し、ドア開放状態となっている			コメント	電気配管固定金物の腐食、破断し、配管が脱落している		

